

数学クイズの実践

新篠津高等養護学校

坂井 健太郎

1はじめに

- ・授業の導入で数学クイズに取り組んでいる。
- ・こちらからクイズを出題するだけでは面白くないため、生徒にクイズを考えてもらい、出題することにした。

2実践方法

- ・口頭で前時の復習、あるいは、数学に関するクイズを5題出題する。
- ・今回、生徒に数学に関するテーマであれば何でもよいことを伝え、指定した用紙に記入してもらった。
- ・また今回は、授業へのわくわく感を大事にしようと考え、100円均一ショップで抽選用紙と抽選箱を購入し、使用することにした。
- ・指定した用紙(抽選用紙)に生徒がクイズを1題記入し、くじの形にして、抽選箱に投函。
- ・その後、生徒にくじを引いてもらい、その場で問題に取り組んでもらった。
- ・(上記の前に)こちらの方で生徒が作成した問題を把握し、解答と解説の準備をした。

3結果

- ・今回、生徒たちが考えた問題は以下5題である。
 - ① 「赤玉4個、青玉6個入った袋があります。その中から1個取り出すとき、赤玉である確率はいくらですか。」
 - ② 「150円のジュースを x 本、50円のお菓子を y 個、買います。代金の合計金額はいくらですか。」
 - ③ 「101%から191%まで拡大できるコピー機を2回使って、ある書類をちょうど200%に拡大するにはどうすれば良いですか。」
 - ④ 「縦7cm、横11cm、高さ20cmの直方体があります。体積はいくらでしょうか。」
 - ⑤ 「 $x = 0$ はグラフ上のどこの部分ですか。」
- ・興味を持って生徒たちが取り組んでいた。

4考察

- ・生徒たちの興味関心を高めることができていた。

5まとめ

- ・数学クイズには、授業を補完する作用があると感じた。

6今後の展望

- ・数学クイズでスライドを作成して、新たな授業展開を進めていきたい。
- ・今年度、取り組んできた問題を記録して残し、3月の授業で「進級課題」、「数学クイズ問題集」にして、生徒たちに力試しの活動を設定し、挑戦してもらいたいと考える。